



## 校長室より



令和5年10月10日

No.12

朝夕の涼しさが心地よい季節となりました。気付けば令和5年度も半分が過ぎ、虫の音に秋の訪れを感じる今日この頃です。

実りの秋とも言いますが、学習の成果が見られるのもこの時期です。それゆえに、学校見学に来られる方もこの秋が多いですし、児童生徒の発表の場でもある文化祭など学校行事も目白押しですよね。

本校の二学部（通学生）の中学部と高等部は、10月の第一週目は中間テストでした。どうしても結果が求められる定期テストは、生徒たちにとってストレスとなります。そのような中、各教科を担当する教員は工夫を凝らし、選択式の問いを増やしたり、ヒントカードを用意したり、ノートの持ち込みを許可したり、別室で他人が気にならないように実施したりするなど、個々に合わせた合理的配慮を展開してくれていました。少しずつ慣れていってほしいと思います。

一学部（入院生）の児童生徒にとっては、月に一回の森林浴は、楽しみの行事の一つです。この季節の良い時期に病院から外に出られる機会は、何事にも代えがたいものがあります。10月の森林浴には、毎年、煙樹ヶ浜の松林の中で野外コンサートを開催してくれるゲストティーチャーをお呼びしています。10日（火）、秋晴れの中、煙樹ヶ浜のキャンプ場をお借りして、松林に響き渡る心地よい歌声と楽器の音色に聞き入り、野外授業を堪能しました。秋の日差しと秋風、松林の香りと海の香り、心にしみわたる音楽、音楽に誘われてさえずる鳥の鳴き声、五感で感じる快の体験をこれからもたくさん重ねていきたいですね。

